

令和 5 年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

施設名	多胡記念公園
指定管理者	(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団 理事長 清水 和男
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・施設の統括管理及び庶務

慈緑庵の開館状況：

毎週月曜日（月曜日が休日に当たるときは、その休日の翌日）及び年末年始を除く毎日

9:00～20:30 開館

・施設利用受付及び庶務

年間利用者数

施設名称	令和 5 年度利用者数	令和 4 年度利用者数	増 減	備 考
慈緑庵	3,542 人	3,166 人	+376 人	書院利用者も含む

・施設内清掃及び簡易な修繕

維持管理業務の実施状況

日常的な業務：園内のパトロール及び清掃業務、機械警備業務 年間を通じ実施

施設保守点検：空調設備保守点検 年 2 回実施 その他公園施設等点検 年 12 回実施

その他管理：樹木及び花壇の管理業務 年間を通じて実施

害虫駆除業務 年 12 回実施 樹木剪定作業委託業務 年 8 回実施

草刈作業委託業務 年 4 回実施

地域自治会と連携し不法投棄や犬の糞放置対策などの防犯対策を実施

・事業の実施

(1) 教室ほか

事業名	開催日	対象	参加料	参加人数/定員
親子茶道体験教室	8/19 (土) 午前・午後	小中学生と 保護者	1,000 円	5 組/10 組 午後の部中止
お茶会のための マナー教室	9/21 (木)	高校生以上	1,000 円	7 人/10 人
七五三写真撮影会	11/3 (金・祝)	どなたでも	無料	35 人/なし
中央林間手づくりマ ルシェ呈茶席	11/26 (日)	どなたでも	300 円	52 人/50 人

庭木の手入れ教室	2/15 (木) 2/17 (土)	高校生以上	1,000 円	1 人/10 人 4 人/10 人
はじめての茶道 体験会	3/2 (土) ①10:00~ ②11:30~ ③14:00~	どなたでも 小学3年生以 下は保護者 同伴	500 円	①9 人/8 人 ②8 人/8 人 ③4 人/8 人
和文化倶楽部 読書サロン	6/30(金) 9/13(水) 11/10(金) 3/12(火)	和文化倶楽 部会員	無料	計 25 人/なし (6 月より再開)

(2) 展示

事業名	開催期間
皐月（端午の節供）の室礼	4/28~5/9
文月（七夕）の室礼	7/4~7/11
師走（冬至）の室礼	12/19~12/23
正月の室礼	12/24~1/3
正月の室礼その2	1/5~1/17
節分の室礼	1/18~2/14
3月3日の室礼	2/27~3/13

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・施設利用者数は令和4年度3,166人に対し、令和5年度3,542人と約1.2倍に増加しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら施設運営を行ってまいりましたが、令和5年5月より5類に移行され行動制限も解除となり、多胡記念公園（慈緑庵）を利用される方々も、徐々にコロナ前の状況に戻りつつあります。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	5,867,000 (5,867,000)	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生等の金額)	2,921,181 (2,737,793)
利用料金収入 (条例に基づき、利用者が指定管理者に支払った利用料金)	1,618,630 (1,291,980)	施設管理費 (施設の清掃や、保守点検、修繕に支出した金額)	4,178,589 (3,929,687)
その他収入 (自主事業・雑収入)	43,100 (46,000)	事業費 (指定管理者が自主事業を行っていく上で支出した金額)	103,735 (106,113)
収入計 (①)	7,528,730 (7,204,980)	支出計 (②)	7,203,505 (6,773,593)

収支決算	325,225 (431,387)
------	----------------------

()は、令和4年度決算額

【収支決算に関する補足説明】

- 令和5年度の収支状況は、収入差額のとおり325,225円の黒字決算となりました。特に差異の大きい科目について補足説明をします。

収入の部

- 利用料金収入は、新型コロナウイルス感染症の行動制限解除に伴い令和4年度実績1,291,980円に対し、令和5年度は1,618,630円で326,650円の増収になり、約1.3倍に増加しました。

支出の部

- 人件費及び施設管理費は、令和4年度実績6,667,480円に対し、令和5年度は7,099,770円で432,290円の支出増になり、約1.06倍に増加しました。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和6年7月19日に大和市環境審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

- ・常設で設置してある意見箱や臨時で行ったアンケートで寄せられた結果では、9割の方から「とても満足」、「おおむね満足」という回答を得られていました。
また、自主事業（令和5年度6回実施）実施時のアンケートでは、参加者全ての方から「とても満足」または「おおむね満足」という回答を得ることができました。
- ・茶道具について、季節限定で使用するお道具の貸し出しを令和4年度より継続して行っており、令和5年度は利用者のニーズに対応した茶道具を新たに購入し、利用者からは好評を頂きました。
- ・利用制限が解除され、新型コロナウイルスの分類が5類に移行されましたが、引き続き清掃・消毒などに注意を払い、効率的な管理運営を行うことができました。

評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

- ・自主事業について、計画した6つの事業全てを実施し、大変好評を得ました。
- ・季節の室礼（しつらい）展示を7回実施し、季節の花で床飾りなどを行っていました。

評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか

- ・管理運営マニュアルを基に効率的な管理運営を行っていました。
- ・日常の設備点検のほか専門業者による定期点検の実施や地域自治会と防災訓練を実施し、防犯・防災対策を強化しました。
また、不法投棄や犬の糞放置などの情報を自治会と共有し、連携して防犯対策に努めました。
- ・風水害が発生した際には、事後に園地などの見回りを迅速に行い、倒木を速やかに処理していました。
- ・仕様書（年2回草刈）以上の草刈を実施していました。
- ・危険木（さくら3本）に対し適切な樹木管理を実施していました。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・関係法令に基づく管理体制を遵守し、上級救命講習受講者等を適正に配置していました。
- ・作業員および施設管理担当者を対象にチェーンソー作業従事者特別教育、刈り払い機作業従事者特別教育を受講させ、安全かつ適正な植物管理に努めていました。また、庭園、公園緑地管理業務経験者もしくは技術を有するものを配置していました。
- ・令和5年度の指定管理事業では、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行され、利用者数は当該感染症前に戻りつつある中で、安全な施設使用ができるよう効率的な公園内の維持管理や安全管理に努めました。
- ・この様に利用者ニーズを把握し迅速に運営に活かす仕組み、施設管理に必要な有資格者及び柔軟に危機管理体制を整えることができるなど安定した経営が行えるノウハウを有しており、当財団における管理運営に支障ありません。今後もより効率的な事業運営に努めていきたいと考えています。